

あま市議会 だより

2023年
3月
第51号



おじいちゃんの畑に芋堀りへ (令和4年11月 あま市東溝口)

- 02 はたちが市に望むこと
- 03 12月定例会のあらまし
- 05 百条委員会の設置
- 05 第3回臨時会のあらまし
- 06 市政を問う(11議員が一般質問)
- 14 議案等審議結果

WEBサイト
<https://www.city.ama.aichi.jp/gikai/>

あま市議会



はたちが市に望むこと

【公共施設について】

公共施設について、学習スペースの多様化を望みます。皆さんは外で勉強しようとしたとき、どこへ行きますか。図書館や自習室を挙げると思います。しかし、利用方法に制限があり、利用しづらいのが現状です。そこで、Wi-Fiやディスカッションルームの導入を提案します。インターネットの利用や会話ができる場を設けるなど、施設を多様化することで、さまざまな人と用途に対応できる学習スペースが実現できるのではないかと考えます。

【観光について】

観光について、あま市の魅力をPRできるツアーの実施を望みます。市内には、甚目寺観音などの文化遺産が数多く存在します。市内の文化遺産や飲食店を巡るツアーを実施し、参加者にSNSで情報を拡散してもらうことで、多くの人に市の魅力をPRできると考えます。また、スタンプラリーを行うことで、気軽に歴史に触れていただけるようになり、よりあま市の魅力を引き立てられると考えます。



甚目寺地区はたちの式実行委員

【交通について】

交通について、バスや鉄道以外の移動手段の充実を望みます。あま市はバスの本数が少なく、駅から離れているスーパーや美和図書館などの施設に移動することが難しい現状です。この解決策として、駅に放置されている自転車のリサイクルや回収を行い、レンタル自転車として設置することを提案します。レンタル自転車が普及すれば、市内の名地に自由に移動しやすくなると考えます。

【イベントについて】

あま市に望むことは、より市外の人々に訪れてもらえるイベントの開催です。現在もたくさんイベントがありますが、市民の中でもあまり認知されていない印象です。例えば、マルシェの数を増やしたり、ラーメンや餃子のフェスを誘致したり、街の木をイルミネーションで装飾するなど、魅力的なイベントを増やすことが街の活気につながると考えられます。多くの人から愛される街になることを願っています。



七宝・美和地区はたちの式実行委員

【安全面について】

安全面について、七宝焼を活用した街灯の設置を望みます。あま市は街灯が少なく、暗い道が多いと感じます。七宝焼を利用した街灯を増やすことで地域の産業を活性化させ、同時に犯罪率の低下につなげることができると考えます。学校行事などで七宝焼体験を実施し、その作品を街灯に使用できれば、さまざまな方面でより明るいあま市になるでしょう。

【商店街について】

あま市に望むことは「商店街の活性化」です。現在、甚目寺観音付近の商店街は閑散としています。活性化を図るには、若者の文化を取り入れることが必要不可欠だと考えます。例えば、七宝焼を活用したレトロなカフェをつくる。そうすることで、老若男女問わず多くの人が集まり、あま市の伝統があふれる商店街をつくることのできるのではないのでしょうか。

12月定例会のあらまし

11月25日～
12月21日
(27日間)

条例の制定、一般会計補正予算など**26件**が提案され、全て原案のとおり可決しました。
その他、請願**2件**を採択、議員提出の決議を**1件**、意見書を**1件**可決しました。

子ども医療費高校卒業相当まで
完全無料化を求める請願書を採択

18歳年度末までの医療費無料制度創設を
求める意見書を可決

国の関係機関に提出しました。

障がい者福祉サービス施設条例の一部改正条例を可決

利用者の減少や施設の老朽化により、七宝福祉作業所の
継続が困難となったため、廃止する。

問 七宝福祉作業所の利用者数と利用者の今後は。

福祉部長 令和4年1月から利用者がいない状態。令和3年11月時点で利用契約者が7名いたが、全員が令和4年1月以降民間法人が運営する事業所を利用している。



廃止される七宝福祉作業所

文化の杜ほか4施設の指定管理者の指定を可決

今年度で指定管理期間が満了するため、令和5年度以降の
指定管理者を指定する。

問 令和5年度から文化の社の指定管理者が別の会社に変更されるが、変更する理由は。

生涯学習課長 優先候補者からは、使用料の各種割引の導入、図書返却ポストの増設、障がいのある方への図書宅配サービスの実施の提案があった。これらの提案が他の事業者と比較して高く評価されたため。



文化の杜

消防団条例の一部改正条例を可決

消防団員の処遇改善を図るため、分団長以下の消防団員の
年額報酬引き上げなどを実施する。

問 報酬は、どのような形になったか。

総務部長 国の団員の標準額(3万6500円)に、これまで費用弁償として支払っていたポンプ点検手当相当分(6000円)を標準額に加え、処遇改善の趣旨から端数を切り上げて、団員の報酬は4万3000円とした。団長と副団長は、本市全体の均衡を鑑み、報酬を引き下げた。



あま市消防団

一般会計補正予算

(第7号、第8号)

可決

一般会計に、5億7855万2千円を追加し、総額を401億7474万円としました。

新規・拡充や主な事業

拡充

乳幼児健診事業費
135万3千円

3歳児健診の視力検査時に、斜視や弱視を早期発見するため、屈折や眼位を測定することができるフォトスクリーナーを導入する。

拡充

運営費(保育園)
133万2千円

昭和保育園、聖徳保育園、萱津保育園、新居屋保育園、五条保育園、大花保育園のゼロ歳児の受け入れ月齢を、満10カ月から満6カ月に引き下げるために必要な備品を購入する。

新規

出産・子育て
応援金支給事業費
9388万2千円

出産・子育てを応援するために、伴走型相談支援の充実と、出産育児関連用品の購入費助成や子育て支援サービスの利用負担軽減を図る経済的支援を一体として実施する。

乳幼児健診事業費

問 購入したフォトスクリーナーを、甚目寺・美和・七宝の3つの保健センターでどのように運用するのか。

市民生活部長 3歳児健診を2会場以上で、同時に行うことはないので、1台のフォトスクリーナーで、全ての対象児童に対して実施できる予定。



【写真提供：船橋市】フォトスクリーナー装置

運営費(保育園)

問 ゼロ歳児の受け入れ月齢を満6カ月に引き下げるために必要な備品とは。

福祉部長 ベビーベッド、避難車やゴムマットなどを購入する。

問 避難車とゴムマットの使用用途は。

福祉部長 避難車は、災害時の避難などの利用をはじめ、普段は散歩にも利用する。ゴムマットは、ほふく時の安全対策として、保育室の床に敷く。

出産・子育て応援金支給事業費

問 相談支援の面談は、新型コロナウイルス感染症対策をどのようにして実施するか。

健康推進課長 間仕切りを設置し、面談する予定。また、SNSなどによるオンラインでの面談も可能となっているため、その方法についても検討していきたい。

4回目の委員長不信任

厚生委員会議案審査について(報告)

12月14日開催の厚生委員会にて、委員より委員長が会議規則にのっとり委員会を運営していないとして、委員長不信任動議が提出され、賛成多数で可決されました。委員長不信任が可決されたのは、今年度4回目となりました。

不信任に法的拘束力はないとして、委員長は辞任せ

ず委員会を続けたので、不信任とされた委員長の下では、正しい審査が担保されないとして、過半数の委員が退席し、会議開催に必要な出席者数を欠き、委員会は終了しました。その結果、厚生委員会に付託されていた議案などの審査は行えませんでした。これらの議案は、12月21日の最終日の本会議で審議を行い、議決しました。



百条委員会の設置!!

地方自治法第100条の規定による事務の調査を行うための特別委員会を設置する決議について

(抄)

- 1 本議会に議長を除く議員全員で構成する松下昭憲議員の本会議発言「架空の工事」の事実関係調査特別委員会を設置するものとする。
- 2 本特別委員会は、地方自治法第100条第1項の規定により、松下昭憲議員が令和4年12月定例会で自身の一般質問において「架空の工事」と発言した(注)工事等に関する事項について調査するものとする。

反対討論 ▶ 野中幸夫議員

架空工事について、事実関係を議会が調査するのであれば、まず地方自治法98条に基づいて、議会の検査権を行使し、市の事務を検査して、それでも調査し切れないということであれば、百条委員会の設置をするべきだと訴え、反対する。

反対討論 ▶ 松下昭憲議員

百条委員会になれば、職員や業者の名前が出るため、反対する。

賛成討論 ▶ 森耕治議員

問題に対して素早く調査していくために、調査権行使の権限のある百条委員会の設置が妥当だと考え、賛成する。

賛成討論 ▶ 足立詔子議員

当該工事について調査し、議会としてその有無を確認し、議会としてのチェック機能を果たしていくことが大切なのではないかと考え、賛成する。

決議案は、賛成多数により可決し、12月21日「松下昭憲議員の本会議発言「架空の工事」の事実関係調査特別委員会」を開催し、後藤哲哉委員長・足立詔子副委員長を選任しました。

(注)12月定例会の一般質問において、松下昭憲議員が北刈木田線街路築造工事における市発注土木工事において「架空の工事」があったとの発言がありました。

第3回臨時会のあらまし 10月25日に開催しました。

一般会計補正予算(第6号)を可決しました。

一般会計に、5億4223万6千円を追加し、総額を395億9618万8千円としました。

新規・拡充や主な事業

新規 電力・ガス・食料品等
価格高騰緊急支援給付金給付事業費
3億9071万4千円

電力・ガス・食料品などの価格高騰による負担増を踏まえ、住民税非課税世帯および家計急変世帯に対し、1世帯当たり5万円を給付する。

拡充 アマノギフト事業費
1億1625万円

令和4年10月1日に本市に住居登録がある昭和37年4月1日以前に生まれた人および平成16年4月2日から平成19年4月1日までに生まれた人と市内事業者の双方を支援する。

拡充 予防接種事業費 3469万2千円

新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの同時流行を見据え、希望する高齢者などに対し、インフルエンザワクチン予防接種に係る自己負担額を助成する。



電力・ガス・食料品等
価格高騰緊急支援
給付金をPRする
市公式ウェブサイト

市政を問う 11 議員が質問

各議員の顔写真の下に二次元コードを掲載しています。この二次元コードをスマートフォンやタブレットで読み取ると、その議員の一般質問動画をすぐに視聴することができます。

新政会

佐藤 貞夫 議員 …… 7ページ

- ① 上下水道事業について

志政会

森 耕治 議員 …… 7ページ

- ① 名古屋津島線バイパス工事の変更点について
- ② 公務員の兼業について

公明党

足立 詔子 議員 …… 8ページ

- ① キャリア教育にワークルールの導入を
- ② 带状疱疹ワクチン接種費用の助成を
- ③ 口腔がん検診の実施を
- ④ 男性用のサニタリーボックスの設置を

日本共産党

野中 幸夫 議員 …… 8ページ

- ① 带状疱疹ワクチンについて
- ② 治水対策について

市民改革クラブ

松下 昭憲 議員 …… 9ページ

- ① 小回りの利くデマンド交通導入を
- ② あま市の井領道路・水路について

新政会

前田 豊光 議員 …… 9ページ

- ① 令和4年度都市計画マスタープラン

公明党

近藤 みどり 議員 …… 10ページ

- ① がん対策の推進について
- ② 女性デジタル人材育成について

令和会

山内 隆久 議員 …… 10ページ

- ① あま市の乳幼児教育（保育）について

新政会

山本 雄一 議員 …… 11ページ

- ① 交通安全について
- ② 防災について

志政会

横井 敏夫 議員 …… 11ページ

- ① 新庁舎の窓口業務について

新政会

石田 良雄 議員 …… 12ページ

- ① 学校給食について
- ② I型糖尿病の子への学校生活などに対する対応について

※会派名は以下のとおり表記しています。

市民改革クラブ（あま市民改革クラブ）

公明党（公明党あま市議団）

日本共産党（日本共産党あま市議団）

志政会（志政会） 新政会（新政会） 令和会（令和会）



上下水道事業について



新政会 佐藤 貞夫 議員

一問一答方式



問 石綿セメント管の耐震管への更新の計画と現状は。

上下水道部長 石綿セメント管は、合併時の平成21年度末には、総延長で約10キロメートルあったが、布設替え工事を進めることにより、令和3年度末現在で、545メートルを残すのみとなった。この残延長の更新計画について、県が現在整備している主要地方道名古屋津島線バイパスの工事に併せて、代替ルートを計画し、切り替えを行っていく。

問 下水道の進捗率と工事完了区域内の下水道の切り替え済みの比率（接続率）は。

上下水道部長 令和3年度末で、進捗率は63・9％。接続率は市全体で66・9％。

問 接続率を向上させるための推進策は。

上下水道部長 接続率向上の推進策

は、市広報および市公式ウェブサイトでの接続のお願いや、工事や供用開始時に関係住民へ資料などを送付し、接続のお願いをしている。また、新しい試みとして、令和2年度より接続勧奨業務を委託し、未接続宅への戸別訪問を行い、接続勧奨を行っている。引き続き、継続的に接続推進啓発を行い、下水道接続率の向上に努め、自主財源である下水道使用料の確保につなげていきたいと考えている。



石綿管布設替え工事

名古屋津島線バイパス工事の変更点について



志政会 森 耕治 議員

一問一答方式



問 名古屋津島線バイパスについて、繰り返し質問をしているが、6月議会の一一般質問の答弁と、今の工事進捗に変更が生じている。時系列を含めて変更点について経緯の説明を。

建設産業部長 七宝小学校南東交差点から市道桂27号線付近までは工事完了後に供用開始する予定だったが、七宝町桂区および七宝町川部区の生活道路が新たな抜け道となることを懸念し、県に対し工事内容変更の打診をした。6月議会の質問による議論を経て、改めて県に対し工事内容変更を強く要望した。

その結果、7月には工事内容が見直され、当初の区間に加え、市道安松鷹居線までの取り壊し工事および新設される横断歩道橋の基礎くい工事が追加され、工事完了後も計画4車線での整備完了までは供用しないこととし、現状の

市道の機能を保全すると変更された。

問 工区全体のスケジュールに影響が出ないか。

建設産業部長 影響はないと聞いている。

公務員の兼業について

問 報酬が発生する地域貢献活動の従事について、本市には定めが無いが、総合的な定めをしていく必要性を感じるが。

企画財政部長 市職員が、個々の知識や経験などを生かして地域の活動に参加することで、地域を活性化することも、その経験が公務にもフィードバックされ、公務の遂行に役立つという好循環につなげる効果があり、他団体の先進事例を調査・研究する。

キャリア教育にワーカーの導入を



公明党
足立 詔子 議員

一問一答方式



問 キャリアスクールプロジェクト事業の目的は。

教育部長 小学校で培ったキャリア形成と職場体験など中学3年間のキャリア教育をつなぎ、自己のキャリア形成を図ることを目的としている。

問 キャリア教育にとってルールを知ることが大切であり、社会保険労務士や関係機関の出前講座を活用しては。

教育部長 ワーカーを学ぶ上で、専門知識を持つ講師から学ぶことは、生徒にとって良い経験になると考え、学校と情報を共有したい。

問 ワーカーの導入の考えは。

教育部長 キャリア教育は、ワーカーを含めたいろいろな知識を持って、体験を通して将来の生き方を考えるために重要であると認識をしている。横断的に工夫をしながら、キャリア教育の充実を

目指していきたい。

带状疱疹ワクチン接種費用の助成を

問 带状疱疹は、日本人の成人約9割が発症する可能性があり、厚生労働省も定期接種化について調査、検討しているが、県内の動向は。

市民生活部長 県内自治体の実施状況は、7市町村で接種費用の助成を行い、令和4年度中に1市、5年度に2市が実施予定である。

問 本市も接種費用の助成をしては。

市民生活部長 带状疱疹ワクチン接種の必要性は感じており、既に接種費用の助成の実施に向けて検討を始めている。助成金額など課題について調査、研究をしており、実施に当たり、国や県に対して補助金の交付を要望し、財源確保を行っていく。近隣自治体や国、県の動向を注視しながら調査、研究を継続し、早期導入に向けて検討する。

他に、「口腔がん検診の実施を」と「男性用サニタリーボックスの設置を」も質問しました。

带状疱疹ワクチンについて



日本共産党
野中 幸夫 議員

一問一答方式



問 带状疱疹ワクチン接種の助成を行うべきでは。

市民生活部長 不活化と生ワクチンの接種費用に対し助成していく予定。

治水対策について

問 旧梶目寺飛行場の農地では、東海豪雨のときガムの役割を果たした。現在、企業進出に伴い、農地が埋め立てられ、保水力が低下しているのでは。

建設産業部長 10社の企業進出に伴い、開発前の約84ヘクタールから75.6ヘクタールとなり、10%減少。貯留量は2万5200立方メートルの減少。

問 東海豪雨のとき江上田地域では、排水ポンプ・消防車を並べて排水した。豪雨が最近頻繁に発生している。農地が10ヘクタール減少しているので、影響

が出るのではないかと。

建設産業部長 影響は全くないうとすることはない。市として検討していく。

問 調整池の設置計画はあるか。

建設産業部長 飛行場跡地にはない。

問 貯留浸透施設・雨水浸透升の設置計画はあるか。

建設産業部長 飛行場跡地にはない。

問 都市計画マスタープランは、農地での新たな開発に対して、開発増分について、雨水貯留浸透施設の設置を指導して、遊水機能などを確保に努めていくとしている。まちづくりを本気になって進めていく気持ちが伝わってこないがどうなのか。

建設産業部長 都市計画マスタープランはそのように表記している。その必要な根拠、計画などの調査を今後していく必要があると考えている。

問 防災計画で流域治水プロジェクトとして、市、国、県など共同で流域治水を推進するとしているが、具体化は。

建設産業部長 雨水貯留施設や透水性舗装、雨水排水ポンプの整備などの対策に取り組んでいく。

小回りの利くデマンド交通導入を



市民改革クラブ
松下 昭憲 議員

一問一答方式



問 現在の公共交通は、年間幾らの費用がかかっているか。

企画財政部長 令和3年度決算で、運行委託料と車両リース料合わせて、年間2708万3700円。

問 1台当たりの平均利用者は。

企画財政部長 平成29年10月31日から令和4年10月31日までの車両1台当たりの1日平均利用者は14人で、1便当たりは3.5人。

問 現在の車両は大き過ぎないか。

企画財政部長 過去に乗車定員を超え、バスの乗車を断ったことがあったため、ある程度の人数輸送が可能なマイクロバスタイプを使用することにした。

あま市の井領道路・水路について

問 井領道路・水路は、市全体でどのく

らいあるか。

建設産業部長 井領は、現況が道路水路である私有地で、区が所有者から借地しており、市では把握していない。

問 井領地に対し、課税地と無税地があるが、その区別は。

総務部長 公共用道路・水路は、非課税だが、井領地を受領していれば課税している。一方、非課税適用申告書などが提出され、現況が公共用で、無償提供である場合は非課税。

問 井領地の管理は誰が行っているか。

建設産業部長 市が管理している。

問 近年、市が井領地を買った、または大金を出して借りたことはあるのか。

建設産業部長 把握していない。

問 本当にないのか。私の手持ち資料では、工事用の資材置き場として井領地に対して賃借料が支払われているが、もし分かつたら責任は誰が取るのか。

市長 調査する。最終的な責任は私にある。

令和4年度版都市計画マスタープラン



新政会
前田 豊光 議員

一問一答方式



問 幹線道路網の交通状況は以前より朝夕が特に激しいが、把握しているか。

建設産業部長 通勤する職員に聞いたリ、現地を確認して、混雑している状況だと感じている。

問 特に県道給父西枇杷島線が混雑しているが、どうか。

建設産業部長 丹波交差点の交通渋滞が常態化している状況は確認している。

問 以前から丹波交差点について、右折帯の要望をしているが、その後は。

建設産業部長 毎年、海部建設事務所と事業調整会議で強く要望している。

問 以前質問した西尾張中央道より西側は避難所まで遠いが、進捗は。

総務部長 財源確保が難しく、避難所施設の確保はできていない。区が住民の避難場所として地元企業や寺院と協定を締結している。

問 この地域に避難所はできないか。

総務部長 避難所となる公共施設の早期確保は難しいが、引き続き財源と代替手段の確保に努める。

問 現在、企業誘致を進める場所は。

建設産業部長 方領区の約8・8ヘクタール。

問 産業誘致候補地が西尾張中央道沿いや各地にあるが、優先順位はあるか。また、どのようにしたら誘致できるか。

建設産業部長 それぞれの交通便利性や周辺環境に加え、地元の意向や農地転用開発許可、排水の可能性など調査した上で検討していく。



交通渋滞が常態化する丹波交差点

がん対策の推進について



公明党
近藤 みどり 議員

一問一答方式



問 令和4年度から、子宮頸がんワクチンの定期接種対象者への積極的勧奨が再開された。市の対応は。

市民生活部長 4月に定期接種対象者のうちの高校1年生相当、中学1年生とキヤッチアップ対象者に予診票を同封した個人通知を送付した。

問 厚生労働省、高い感染予防効果があるとされる、9価ワクチンを来年度の早い時期から定期接種化する方針である。市の対応、対象者への周知は。

市民生活部長 正式に決まり次第、市公式ウェブサイトや市広報などで周知を図り、市内医療機関にも周知する。

問 接種券発送の際に、9価ワクチンの説明書を同封する考えは。

市民生活部長 同封する予定である。

問 がん患者が人生の最期まで住み慣れた自宅で安心して日常生活が送れる

ように支援し、患者またはその家族の負担軽減を図る「在宅ターミナルケア支援」。助成制度のはざまになっている若年世代への助成制度創設を検討するべきと考えるが、市の見解は。

市民生活部長 国や県の動向を注視しながら、先進自治体の状況など調査、研究していく。

女性デジタル人材育成について

問 国は令和4年4月「女性デジタル人材育成プラン」を発表した。女性が活躍するための就労支援と女性デジタル人材の育成について、市の認識は。また、積極的に推進するべきと考えるが、見解は。

建設産業部長 子育てや介護によりフルタイムで働くことが難しい女性にとっても、多様な働き方が選択できる環境に対応するためには、重要であると認識している。国や県が開催する研修、講座の情報提供や相談業務を充実させるなど、女性のデジタルスキル向上への支援に努めていく。

あま市の乳幼児教育(保育)について



令和会
山内 隆久 議員

一問一答方式



児数は減少傾向である。特に区画整理などが進む地域では、乳幼児を持つ子育て世帯が増える可能性もある。

問 乳幼児教育・保育の充実の考えは。

市長 乳幼児からの早期の教育が注目されている。子育ては、親子の融合が何より重要であり、家庭で子どもを育てながらゼロ歳からの乳幼児教育を取り入れてほしい。市では将来に向けて子育て支援の二層の強化、充実に取り組んでいる。来年度、こども家庭庁の発足に合わせ新しい体制の整備を進める。今後市民ニーズを的確に捉え、子育てしやすいまちづくりに努めたい。

問 人口減少にある日本だが、本市は著しい人口減少はなく、若い世代の同居が増加している。また、家族形態や働き方などの社会変化から子育て環境は大きく変化している。市民からどのような要望が寄せられているか。

福祉部長 子育てを取り巻く環境は目まぐるしく変化しており市民ニーズは多種多様化、複雑化している。教育・保育では、低年齢児保育や延長保育の要望が増え、障がい児や食物アレルギーのある児童の受け入れ体制の充実を求める声がある。市では、令和5年4月から一部の園でゼロ歳児の受け入れ月齢を満6カ月に引き下げる予定。

問 市内では区画整理エリアなど一部地域で需要が偏在するが、把握は。

福祉部長 現在、市の人口、世帯数、住宅件数は増加傾向だが、就学前の乳幼



ゼロ歳児の受け入れ月齢を引き下げ予定の昭和保育園

交通安全について



新政会
山本 雄一 議員

一問一答方式



問 通学路の危険箇所点検の手順は。

教育部長 あま市通学路交通安全プログラムに基づき、保護者やスクールガードなどの協力を得て、各学校が危険箇所をリストアップし、教育委員会へ報告。教育委員会で危険箇所を取りまとめ、七宝、美和、基田寺の3地区に分け、毎年度1地区ずつ、道路管理者や警察署と連携して合同点検を実施している。

問 通学路における危険箇所の整備は。

教育部長 歩道整備、グリーンベルトのペイント、防護柵の設置などのハード対策、交通規制や安全教育のソフト対策などを順次実施。

建設産業部長 交通安全プログラムを活用し、交通安全対策を協力して実施。必要に応じて看板や標識設置などの注意喚起対策も実施。

問 市内各小中学校との連絡体制は。

教育部長 各学校が情報を受けるたびに教育委員会へ連絡をしてもいい。

問 過去、通学中にけがをした児童がいる。市は把握しているか。

教育部長 児童、生徒が交通事故で大きなけがを負った際には、学校より教育委員会へ連絡が入る。

問 痛ましい事故の話を幾つかしたが、事故やけががないよう、通学路の危険箇所の抜本的な対策を進めてほしい。市の考えは。

教育部長 安全を確保するため、通学路の変更を視野に入れるとともに、交通安全プログラムに基づき、関係機関などに働き掛けていきたい。

建設産業部長 破損箇所の修繕やグリーンベルト、区画線設置による歩行空間の確保、歩道設置工事などの対策を進め、引き続き交通安全プログラムを活用したいと考えている。

他に、「防災についても質問しました。

新庁舎の窓口業務について



志政会
横井 敏夫 議員

一問一答方式



問 総合窓口などを設置する予定は。

市民生活部長 全ての窓口を一括する総合窓口を設置する予定はない。

問 組織改編でサービス係をつくるか。

市民生活部長 証明書の発行を一括でまとめて行う市民サービス係を設置。

問 どのような証明書が対象か。

市民生活部長 住民票の写し、印鑑証明、戸籍謄本、課税証明書、所得証明書などを発行。

問 ICTを活用した窓口業務システムを新たに構築する予定は。

市民生活部長 窓口支援と窓口申請書のシステムを導入し、手書き記入を少なくする、書かない窓口を進めたい。

問 書かない窓口とはどういうものか。

市民生活部長 複数回記入する必要のある氏名、生年月日、住所などを、職員が聞き取り、タブレット端末に入力

し、申請書や届書が作成できる窓口。

問 マイナンバーカードを使う考えは。

情報推進課長 氏名や住所などの読み込みをする予定。

問 転入手続きがどう変わるのか。

市民生活部長 最初に市民サービス係で手続きをすれば、保険医療課、子ども福祉課、保育課などの担当職員が向き、窓口の移動なく手続きができる。

問 コンシエルジュをつくる予定は。

市民生活部長 来庁者に各課の案内や番号発券機の操作説明などを行うフロアマネジャーを市民課窓口近辺に配置予定。



新庁舎1階待合ロビー イメージ



新政会
石田 良雄 議員

一問一答方式



問 みどりの食料システム法案が可決されたが、オーガニック給食をどのように取り入れていくか。

教育部長 有機食材を使用した献立を定期的に提供できるように、導入回数などを調査、研究していく。

問 アレルギーの観点からも、市独自の食材選定基準をどのように考えるか。

教育部長 給食は、心身の健全な発達に資するものであり、市は、安全で安心な給食を提供する責務があり、基準は必要。

問 学校給食で使用する調味料の選定基準は。

教育部長 法律など順守した安全なものを含め、地産地消を推進するため、地元業者の商品を優先して使用している。

問 給食を生きた教材として活用し、

食育を推進しているか。

教育部長 タブレットを活用し、栄養教諭と担任教諭が連携を図りながら、児童、生徒へ食育指導を行っている。

I型糖尿病の子への学校生活などに対する対応について

問 I型糖尿病の子は、保育園に入園できるのか。

福祉部長 入園できるが、入所面接などを行い、緊急時のことなど情報共有をする。

問 I型糖尿病の児童、生徒への対応は。

教育部長 どのようなサポートが必要かを確認し、看護師の配置や薬、医療器具の保管庫などの整備を進める必要がある。

問 I型糖尿病の子が入学すると、看護師などの予算化は。

教育部長 必要な時期に必要な額を予算措置が講じられるよう、準備する必要がある。

視察研修報告

議会向上特別委員会 議会におけるタブレットの運用状況について

○開催日 令和3年11月2日(火)

○視察先 蟹江町議会

議会向上特別委員会の一部の委員で、蟹江町議会に議会におけるタブレットの運用状況の視察研修を実施しました。

蟹江町議会からは、議会ICT推進部会発足とタブレット導入の経緯の説明を聞き、実際に端末に触れて、端末ソフトの説明を受けました。

参加した委員より、便利であると感じたなどのご意見がありました。



蟹江町議会にて

市民から寄せられたご意見・ご提案

「電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金」の支給について

まさに今現在、物価が高騰している。当該給付金の支給に、早く取り組んでください。

追跡

一般質問

その後どうなった？

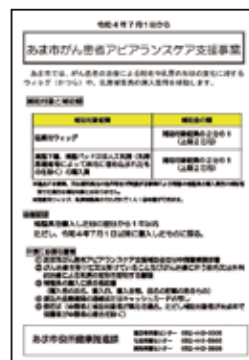
1年前に行われた一般質問の結果を報告します。

質問

がん治療に伴う脱毛など外観の変化のケアを、経済面と精神面から支援する「アピランスケア」助成制度の導入を検討するべきと考えるが、市の見解は。

こうなった!

令和4年度から実施された県のがん患者アピランスケア支援に関する補助事業に基づき、「あま市がん患者アピランスケア支援補助金交付要綱」を策定し、がん治療による外見変貌を補完する医療用ウィッグまたは乳房補整具の購入費用に対する補助を始めた。



令和4年7月から開始されたがん患者アピランスケア支援事業を周知するチラシ

質問

子宮頸がん予防ワクチンについて、国は積極的勧奨を令和4年4月から再開する。市の対応と今後の予定は。

こうなった!

令和4年4月1日から国の方針に基づき、積極的勧奨を再開している。
また、積極的勧奨を中止していた平成25年から令和3年までの間に定期接種の対象年齢を迎えた方に対してもキャッチアップ接種として、公費負担により接種を実施している。



HPVワクチン(子宮頸がん予防ワクチン)を勧奨する厚生労働省リーフレット

第3回臨時会・12月定例会 議案等審議結果

提出された議案と審議結果

【結果の表示記号】

◎全員賛成 ○賛成多数 △賛成少数

【第3回臨時会】

議案番号	件名	結果
議案第60号	令和4年度あま市一般会計補正予算(第6号)	◎

【12月定例会】

議案番号	件名	結果
議案第61号	あま市職員の公正な職務の執行の確保に関する条例について	○
議案第62号	地方公務員法の一部改正に伴う関係条例の整備に関する条例について	◎
議案第63号	あま市職員の降給に関する条例について	◎
議案第64号	あま市職員の高齢者部分休業に関する条例について	◎
議案第65号	あま市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	◎
議案第66号	あま市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例について	◎
議案第67号	あま市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について	○
議案第68号	あま市特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例について	○
議案第69号	あま市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	◎
議案第70号	あま市障がい者福祉サービス施設条例の一部を改正する条例について	◎
議案第71号	あま市消防団条例の一部を改正する条例について	◎
議案第72号	あま市下菅津コミュニティ防災センターの指定管理者の指定について	◎
議案第73号	あま市坂牧コミュニティ防災センターの指定管理者の指定について	◎
議案第74号	あま市上菅津コミュニティ防災センターの指定管理者の指定について	◎
議案第75号	あま市七宝産業会館の指定管理者の指定について	◎
議案第76号	あま市文化の杜の指定管理者の指定について	○
議案第77号	令和4年度あま市一般会計補正予算(第7号)	◎
議案第78号	令和4年度あま市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	◎
議案第79号	令和4年度あま市介護保険特別会計補正予算(第3号)	◎
議案第80号	令和4年度あま市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	◎
議案第81号	令和4年度あま市水道事業会計補正予算(第2号)	◎
議案第82号	財産の取得について	○
議案第83号	財産の取得について	○
議案第84号	財産の取得について	○
議案第85号	財産の取得について	○

議案番号	件名	結果
請願第5号	「不登校児童生徒に対して多様な学習機会の確保のための経済的支援制度の確立を求める意見書」の採択を求める請願書	△
請願第6号	介護・福祉・医療など社会保障の施策拡充についての請願書(75歳以上の医療費患者負担2割引上げをはじめ、これ以上の患者窓口負担増の計画中止を求める意見書の提出を求める請願書)	△
請願第7号	介護・福祉・医療など社会保障の施策拡充についての請願書(国民健康保険の国庫負担抜本的引上げや出産手当・傷病手当の予算措置を行うことを求める意見書の提出を求める請願書)	△
請願第8号	介護・福祉・医療など社会保障の施策拡充についての請願書(年金引下げの中止、安心できる年金制度を求める意見書の提出を求める請願書)	△
請願第9号	介護・福祉・医療など社会保障の施策拡充についての請願書(介護保険制度の改善を求める意見書の提出を求める請願書)	△
請願第10号	介護・福祉・医療など社会保障の施策拡充についての請願書(18歳年度末までの医療費無料制度創設を求める意見書の提出を求める請願書)	○
請願第11号	介護・福祉・医療など社会保障の施策拡充についての請願書(障害者・児が24時間365日、地域で安心して生活できる「暮らしの場」の整備を求める意見書の提出を求める請願書)	△
請願第12号	介護・福祉・医療など社会保障の施策拡充についての請願書(新型コロナウイルス感染症に関わる医療・介護・福祉・保育事業所等への支援強化を求める意見書の提出を求める請願書)	△
請願第13号	介護・福祉・医療など社会保障の施策拡充についての請願書(福祉医療制度を守り、拡充を求める意見書の提出を求める請願書)	△
請願第14号	介護・福祉・医療など社会保障の施策拡充についての請願書(国民健康保険への愛知県独自の支援を求める意見書の提出を求める請願書)	△
請願第15号	介護・福祉・医療など社会保障の施策拡充についての請願書(新型コロナウイルス感染症に関わる医療・介護・福祉・保育事業所等への支援強化を求める意見書の提出を求める請願書)	△
請願第16号	介護・福祉・医療など社会保障の施策拡充についての請願書(地域の医療・介護の充実を求める意見書の提出を求める請願書)	△
請願第17号	子ども医療費高校卒業相当まで完全無料化を求める請願書	◎
議案第86号	令和4年度あま市一般会計補正予算(第8号)	◎
発議第6号	地方自治法第100条の規定による事務の調査を行うための特別委員会を設置する決議について	○
発議第7号	18歳年度末までの医療費無料制度創設を求める意見書の提出について	◎

【賛否の分かれた議案】

※ 下記以外の案件は、全員賛成で可決

議案番号	市民改革クラブ			公明党			日本共産党	志政会					新政会			令和会			無			
	加藤哲生	松下昭憲	岩本一三	近藤みどり	足立詔子	柏原功	野中幸夫	宮地直宣	森耕治	後藤哲哉	林正彦	奥田哲弘	横井敏夫	山本雄一	佐藤貞夫	石田良雄	前田豊光	桑野俊弘	山内隆久	後藤幸正	伊藤嘉規	
議案第61号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第67号	×	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第68号	×	×	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第76号	○	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第82号	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第83号	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第84号	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第85号	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
請願第5号	○	○	○	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	—
請願第6号	○	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	—
請願第7号	○	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	—
請願第8号	○	○	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	—
請願第9号	○	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	—
請願第10号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	—
請願第11号	○	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	—
請願第12号	○	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	—
請願第13号	○	○	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	—
請願第14号	○	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	—
請願第15号	○	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	—
請願第16号	○	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	—
発議第6号	×	×	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

※表示について ○：賛成 ×：反対 —：議長は採決に加わりません。

※網掛けは、討論を行った議員です。

※会派は届出順。会派名は以下のとおり表記しています。

市民改革クラブ（あま市民改革クラブ） 公明党（公明党あま市議団）

日本共産党（日本共産党あま市議団） 志政会（志政会）

新政会（新政会） 令和会（令和会） 無（無会派）

「あま市議会だより」リニューアルのお知らせ

今号からあま市議会だよりの表紙や誌面デザインをリニューアルします。
主な変更は次のとおりです。

リニューアルポイント

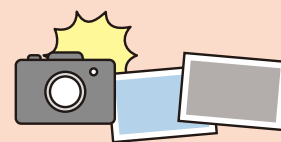
- ・表紙タイトルロゴを見やすく、シンプルに
- ・デザイン、構成を一新
- ・英数字も見やすいヨコ書き、左開きに
- ・全ページフルカラーに
- ・ユニバーサルデザインフォントを採用



これからも広報広聴特別委員会では、皆様にとって読みやすい議会だよりを目指していきます。
今後ともご愛読いただきますようよろしくお願いいたします。

募集

表紙写真を募集します!!



「あま市議会だより」をさらに身近に感じていただき、親しまれる紙面となるよう、市民の皆様から表紙に掲載する写真を募集します。
詳しくは、市公式ウェブサイトをご覧ください。



スマホ・タブレットでも議会中継を!!

- ケーブルテレビ「クローバーテレビ」生中継
※デジタル111チャンネルにて放映しています。
(当日午後7時から再放送あり)
- インターネット議会中継のページ
(一般質問、議案質疑および最終日の採決の様子を録画配信しています)



<https://ama-city.stream.jfit.co.jp/>

委員	副委員長	委員長	■広報広聴特別委員会 (委員は議席番号順)		
//	//	//	足立 詔子	山内 隆久	宮地 直宣
野中 幸夫	山本 雄一	加藤 哲生	横井 敏夫	後藤 幸正	

開議時間 午前10時
(委員会は午前9時)
※日程は変更となる
場合があります。

3月24日 (金)	3月17日 (金)	3月16日 (木)	3月15日 (水)	3月6日(月) 8日(水) 9日(木)	2月24日 (金)
閉会	討論・採決	厚生委員会	総務文教委員会	議案質疑	議案説明
				一般質問	開会

3
月定例会予定